

中田かわら版 1月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■ この人に会いたい<29>

中田地区環境事業推進委員協議会

会長 星山盛夫さん（76歳）東原

星山さんは中田環境事業推進委員を務めて15年になる。会長になって平成29年4月には4年目を迎える。前会長の奥津勝司さんを「動」とすると星山さんは「静」の会長職がぴったりする。物静かな人柄だが、表面には出さないが一本筋が通っている。星山さんが言う「ありがとうございました」の言葉の響きに心がこもって、こちらが和んでくる。誠実、実直な人である。各自治会から推薦された代表40人の環境委員の会長を務める星山さんが皆から信頼され、親しみを持たれる所以（ゆえん）であろう。中田、泉区の両環境の活動に一丸となって協力、貢献しているのは誰もが認めるところだ。



星山盛夫さん

昭和35年から47年の12年間、日本鋼管京浜製鉄所で勤務した一時期を除き、以後一貫して環境事業に従事してきた。民間会社を經由、横浜市役所に転職。環境事業局（鶴見工場）、廃棄物資源公社資源化センター、資源循環局適正処理部（金沢工場）などに従事。平成28年3月にようやく定年、現在に至る。したがって星山さんは環境関係の仕事では通算50年ちかく携わってきた、この道のプロなのである。中田の環境委員になったのは平成15年からで、現役時代と重なり、活動をしてきたわけである。

ところで星山さんをご自分の経歴を綴った「メモ」を見せてくれた。「私は昭和15年生まれの道産っ子。戦後の混乱のなか、昭和29年流れ流れて仙台に出る。35年には川崎と続き、さらに横浜と川崎を行ったり来たりして、昭和44年やっと今の泉区中田に落ち着き家族と暮らせるようになりました」。

地域活動は昭和47年、東原自治会の体育部から始まり、その後、自治会の総務、副会長を歴任。平成13年に会長を10年間務めた。この10年を振り返って、一番感じたことは「自治会の皆さんが、すべてに協力的だったこと。運営、行動、進め方は話し合いが基本で協調を大事にやってきました。今でも感謝しています」。



出席率の高い定例会風景

通算して環境一筋50年のキャリアは会長としてノウハウは十分発揮されている。平成25年（2013年）には泉区で最大の助け合いグループ「ゆりの会」（創立2001）に入会しボランティア活動にも参加。「ふれあい樹林」愛護会（望月 榮会長）会員として創立時から関わり現在は副会長として毎月1回は山の手入れに参加。中田社協の評議委員、中田連合自治会の監査、泉区環境の副会長に抜擢され忙しい日々を送る。

モットーは「人の前に出るな&人の後ろにもなるな！」。常に「為せば成る！」の気持ちで物事にのぞむ。趣味は庭い

じりと小旅行。最近、奥さんと二人で北海道に行って「森のガーデン」を観てきた。町の中よりは静かな自然を見て楽しむ。愛妻家の一面もちよっぴり見せてくれた。

（編集委員 宮田貞夫）

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

2月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【立場地区センターまつり】

2月11日(土)

- ・ 10:00～16:00 地区センター利用団体の実技発表や作品展示など

2月12日(日)

- ・ 10:00～12:20 中和田中学校吹奏楽部、中田小学校・中和田小学校マーチングバンド、中田囃子、ソプラノコンサート
- ・ 10:00～14:00 作品展示
- ・ 10:00～14:00 豚汁、混ぜご飯販売他

【囲碁将棋大会】

日時：2月5日(日)

受付：8:30 (9:20 開会式)

場所：中田町会館 2階

- ・ 今年の名人は誰の手に！恒例の囲碁将棋大会を開催します。

参加費：¥500- (昼食代)

参加者：小・中学生・一般 (高校生以上)

申込：各町内会・自治会文化部長まで

■1,600点の展示！すばらしかった文化祭

11月13日、中田文化祭（中田連合自治会中田文化祭実行委員会主催）が中田小学校を会場に開催された。（12日は午後5時～6時）。8月のサマーフェスティバル、中田連合大運動会（10月9日）が雨で中止になっていたが、文化祭当日は雲一つない好天気。

体育館の展示会場では絵画、写真、編み物、書道、模型など1600点が出品、プロ並みの作品もありレベルの高さを感じる。ステージでは葛野小学校4年生の合唱、中田中学校茶道部の野点（のだて）に人気が集まっていた。

一方グラウンドには模擬店のテントが並び野菜、やきそば、とん汁など食べ物が良く売れて午後2時過ぎには完売する店も。午前中に行われた東中田小学校のマーチングバンド、午後の中田中学校吹奏楽部では家族らのカメラの放列。すばらしい演奏で楽しませてくれた。例年のように宮城県中田から産地直送の野菜、リンゴ、くるみゆべし、油麩（あぶらふ）などが好評。なお、隔年で行われている中田環境のリサイクルの無料展示会場が開かれ高価な家具が抽選で当たるとあって黒山の人のだかり。環境委員が忙しそうに対応していた。

（宮田）

■「安心して住み続けられる町づくりに向けて」研修会

11月21日、JAみなみ総合センターで泉区福祉保健センター、泉区社協共催、地域ケアプラザ協力で開かれた。住民と関係機関（区役所、区社協、区内各地域ケアプラザ）が協力して地域を知り、課題に向かい合い、住民と共に支え合いの地域づくりを目指すのが目的。区内12地区から5～6人の代表70人、関係機関から30人と約100人が研修に取り組んだ。



福祉保健センターの津田氏から「泉区の現状とこれから」、日本社会大学社会福祉学部の菱沼幹男氏の「住民と専門職とで取り組む地域づくり」の講演。このあと7人ぐらいのグループワークになり各地の現状など話し合った。中田からは森口重瑠、宮田貞夫、小島ミツ子(以上中田社協)、北目六男、石川仁（以上中田シニアクラブ）の5氏が参加した。

（宮田）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！